

A tripartite relationship between floodplain, fish biodiversity, and flood control in the middle stream of the Chao Phraya River

田中, 亘

<https://doi.org/10.15017/1654858>

出版情報：九州大学, 2015, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

| | | | | |
|--------|---|------|----|------|
| 氏名 | 田中 亘 | | | |
| 論文名 | A tripartite relationship between floodplain, fish biodiversity, and flood control in the middle stream of the Chao Phraya River (チャオプラヤ川中流域における氾濫原と魚類, 治水の関係に関する研究) | | | |
| 論文調査委員 | 主査 | 九州大学 | 教授 | 島谷幸宏 |
| | 副査 | 九州大学 | 教授 | 橋本晴行 |
| | 副査 | 九州大学 | 教授 | 塚原健一 |
| | 副査 | 九州大学 | 教授 | 三谷泰浩 |

論文審査の結果の要旨

本研究はタイのチャオプラヤ川を対象に大規模な氾濫原が持つ生態系の機能と洪水氾濫との関係を氾濫原依存魚類の生息場という観点から明らかにし、ダムによる洪水防御機能と生物多様性の保全をどのように調和させるかという課題に関して、生態学と河川工学の両者の統合的なアプローチによりその調和点を示したすぐれた研究である。

よって本論文は、独自の視点から総合的に氾濫原の機能とその保全手法を明らかにした研究であり、河川工学上、応用生態工学上、価値ある業績である。よって本論文は博士(工学)に値するものと認める。